

出水期を前に防災体制の万全を確認 ～平成30年度 洪水対応演習の実施～

四国地方整備局(高松市)と中村河川国道事務所(四万十市)では、梅雨・台風などの出水期を前に防災体制に万全を期すため、今年も関係期間と協力して「平成30年度 洪水対応演習」を実施します。

【訓練日時・場所】

日時 : 平成30年 4月20日(金) 8:45～17:00

場所 : 中村河川国道事務所 災害対策室(別館3F)

【演習内容】

- 洪水時の水位予測
- 水防関係機関への水防警報・洪水予報などの情報伝達
- 排水門や排水ポンプ場などの模擬操作、状況確認、及び情報伝達
- ダムによる洪水調節の情報連絡
- 工事関係者や巡視・点検関係者への情報伝達
- 地域の的確な判断・行動に繋げるため、自治体、関係機関等への情報共有
- 河川氾濫時に被害を最小化するための対策工法の検討など

平成30年 4月16日

国土交通省 四国地方整備局 中村河川国道事務所

【本施策は、四国圏広域地方計画「No.1南海トラフ地震を始めとする大規模自然災害等への「支国」防災力向上プロジェクト」の取組に該当します。】

(問い合わせ先)

国土交通省四国地方整備局 中村河川国道事務所

副所長(河川) : うちやま としひろ 内山 俊浩

TEL:(0880) 34-7301

○建設専門官 : みうら やすもと 三浦 泰幹

TEL:(0880) 34-7304

○主たる問い合わせ先

「平成30年度 洪水対応演習」概要

目的

本演習は、出水時における洪水予測の実施、水防関係機関等への水防警報・洪水予報等の情報伝達、水門など河川管理施設等の操作ルール、操作状況の確認及び情報伝達、河川工事の現場関係者への情報伝達、被害の軽減を図る措置としての対策工法の検討等、実践的な演習を行う事により、防災体制に万全を期することを目的としています。

特に地域の的確な判断・行動につながる情報等の提供、市町村、防災関係機関、マスコミ、水防団等との関連など、地域との連携強化のための取り組みについても、実施することとしています。

また、市町村自らが住民の避難に関する情報や各河川の特性を踏まえた危険箇所等の情報を的確に認識するため、河川管理者と自治体間の情報伝達経路を確保し、実践的な情報を的確に伝達し、自治体と情報を共有することにより地域の防災活動を支援する訓練も併せて実施することとしています。



過年度の実施状況